

HSK・なんれん
おとふけ
NO 50

昭和48年1月13日 第3種郵便物 認可
HSK通巻第350号
2001年5月10日 隔月10日発行
1部100円 (会費に含まれています)
編集 財団法人北海道難病連 音更支部
発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会 (HSK)

♡ 2001年度 支部総会 報告

♡ 全道支部協議会 報告

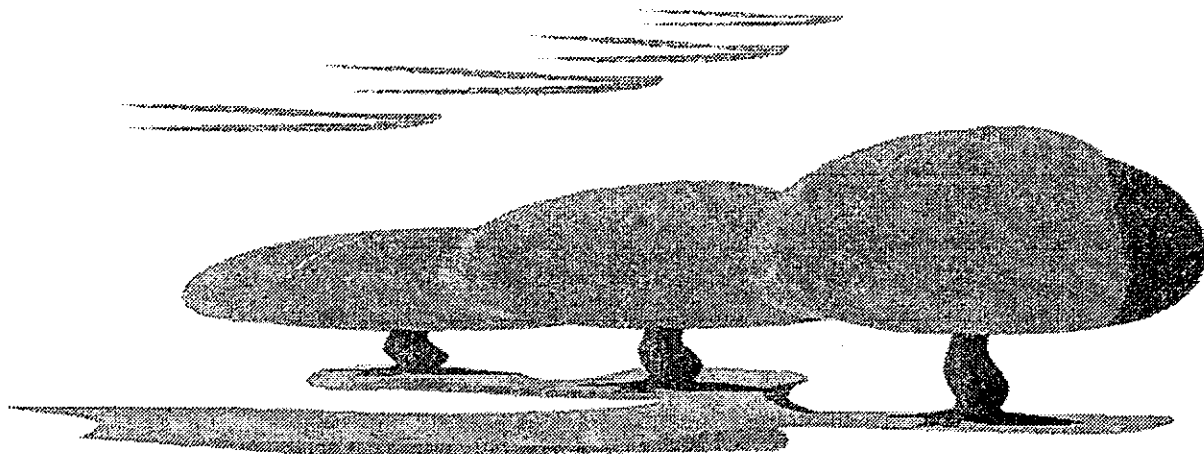
♡ 患者・家族交流会

♡ 共同作業所より

♡ 事務局だより

♡ 難病各部会と道難病連・音更支部とのツナガリ

等



支部総会の報告

2001年の支部総会は4月15日（13：00～16：00）、木野コミセンで開かれ、2000年度活動報告、決算報告、2001年度活動計画案、予算案を討議しそれぞれ承認・可決されました。役員改選も恙なく終わりました。

以下、詳細を報告します。

○ 支部長挨拶

他の組織と違って体調の悪い人がいて、大勢集まって意見を交わすのは難しい組織だということが1年かかって分かってきました。昨年度から「どんぐりの家・作業所」の活動が本格化しました。まだ未認可ですが、実際に携わる人も決定して動きだしています。難病連が「どんぐりの家・作業所」とどう係わるか、両方で連携しながらやっていかななくてはなりません。これまでと異なった面がでてくると思いますが、ご意見をいただければ幸いです。

○ 2000年度活動報告

4月

三役会議 会計監査 支部総会

5月

全道支部協議会（札幌）（支部総会・評議員会） 役員会

佐々木恵美子道議事務所訪問（作業所に関する要請）

6月

会報46号発行

前支部長菅原さんへ感謝状と記念品贈呈

十勝地域医療実態調査団との懇談会（音更・十勝両支部）

7月

難病検診・福祉相談会の打ち合わせ（保健センター） 役員会

8月

全道集会（函館）2泊3日 2名参加

会報47号発行 役員会

元十勝支部事務局長荒尾みや子さんのお通夜に参列 1名

9月

難病検診・福祉相談会の打ち合わせ（保健センター）

音更地区難病検診・福祉相談会（保健センター・診療所）

J P C（日本患者・家族団体協議会）国会請願署名行動（総合福祉センター）

佐々木恵美子と語る野外交交流会（文化センター） 3名 役員会

作業所に関する話し合い（音更町長・民生部）

10月

どんぐりまつり（緑南中学校・どんぐりの家）

11月

クリスマス実行委員会（2回） ふれあい交流感

会報発行48号

12月

クリスマスパーティ（ふれあい交流感） 役員会

2001年

1月

患者・家族新年交流会（旭寿司）

道東ブロック支部役員研修会 1泊2日（ホテル緑館）

2月

会報発行49号

保健・福祉に関する懇談会及び相談会（共栄コミセン）

3月

役員会

会計監査・実務担当者会議（札幌）

<相談活動> 内容

病気に関する相談 3件

身障手帳について 2件

難病連に関して 2件

病気の会について 1件

財団法人 北海道難病連
2000年度
支部決算報告書

自：2000年 4月 1日
至：2001年 3月 31日

支部名 音更支部

収入の部

科 目	2000年度予算	2000年度決算	備 考
支部運営助成金	11,000	11,000	道難病連助成金
市町村補助金	3,000,000	2,000,000	音更町より
その他の助成金	1,000,000	1,000,000	音更町より 難病検査費
参加費収入	11,000	4,200	以てしなかり、711222
寄付金収入	2,200	2,200	
協力会還元金収入	3,500	2,162	道難病連協力会
募金箱還元金収入	5,000	2,162	道難病連募金箱
署名募金還元金収入	5,000		JPC国会請願署名募金
販売事業収入	2,000	2,448	2,448
その他の事業収入	3,000,000	3,000,000	91111414
受取利息収入		193	
雑収入		3,000	
難病連事業参加助成金収入	1,000	4,032	
以てしなかりの雑収入	1,000	1,027	
積立金取崩収入			
前期繰越金		531,844	
収入合計	9,000,000	10,432,027	

支出の部

科 目	2000年度予算	2000年度決算	備 考
会議費	6,000	6,262	
支部役員会	5,000	3,100	資料交通
本部会議費	1,000	3,032	
その他の会議費		1,130	

科 目	2000年度予算	2000年度決算	備 考
事業費	7,000,000	6,735,556	
地区集会費			
全道集会費	2,000,000	2,020,500	函館 2名
医薬講演会費	2,000		
検診相談会費	5,000	11,000	難病検査費
機関紙・誌費	4,000	2,228	4回発行
研修会費	35,000	2,490	道難病連研修
地域部会援助費		25,932	以てしなかり、711222
相談員補助費	2,000	10,442	道難病連交通
活動費		1,100	
負担金・分担金	2,000	2,000	
H.S.K負担金	4,000	5,292	花巻、修膳
以てしなかりの家			
維持運営費	2,000	6,281	
事務局費	5,000	2,407	北道難病連修理
事務消耗品費	3,000	5,615	北道難病連
通信費	4,000	3,122	電話
交通費	5,000	4,392	
資料費			
雑費			
積立金支出		1,000	
予備費			
次期繰越金		1,217	
支出合計	9,000,000	10,432,027	

2000年度
無認可 どんぐりの家作業所運営報告

運営委員会 4月発足
 運営委員 鎌田真理子 (大谷短大講師)
 横田静子 (道立緑ヶ丘病院)
 小川友子 (視覚障害ハビリ広めり会音更)
 井口洋司 (音更ハビリテラピアセンター)
 大野晴美 (地域こころの会)
 細木源一 (身障者福祉協会音更分会)
 宮内塔子 (難病連音更支部)
 穀内律雄 ()
 穀内さかえ ()
 世話人 酒井知子 (知的障害グループホーム世話人)
 小川友子、穀内さかえ

運営委員会は月1回のペースで運営規約他の作成のため、他施設見学したり、資料を集めたり話し合いを重ねてきました。

主作業内容 リサイクル品の集荷、受け取り、点検
 修理、仕分け、値札付け、販売
 作業場所 どんぐりの家、福祉の店
 作業日時 水、金、土、日
 通所者 障害者 5人
 難病患者 5人

ボランティアで
 ご協力を
 いただきました
 70名

どんぐりのせいらべ
 音更高校 ボランティア同好会
 音更たんぽぽの会
 大谷短大生
 U&Iふれあう郵便局を創る会
 帯広友の会
 フレンド
 他人ボランティア

(財)北海道難病連音更支部

2000年度 特別会計 決算

無認可
(とんぐりの家作業所)

収入	前年度繰越金	908137
	春のリサイクルバザール売上	400016
	音更町青空市出店(6回)	104031
	連合夏まつり出店	80572
	音更町福祉まつり出店	51171
	音更町産業まつり出店	122455
	福祉の店売上(5月~翌2月) 73日	781544
	預金利息	528
	合 計	2448454

支出

	車燃料代	53210
	軽トラック購入代	735000
	車借用、維持代	139999
	店バザール弁当代	103274
	光熱費	109689
	事務費	13883
	備品代(備品以外、その他)	278593
	通所者水運交通費	591200
	点検、修理、生活代	77806
	運営委員会費	45800
	一般会計へ	300000
	合 計	2448454

残高 0

財団法人 北海道難病連 支部会計監査報告書

財団法人 北海道難病連 代表理事 様

記

1. 支部名
2. 2000年度 支部決算報告書

上記の件について、厳正なる監査の結果、適正であることを報告いたします。

2001年 4月 6日

支部会計監査

氏名

中村泰晃



氏名

印

○ 2001年度活動計画（案）

5月12日（土）北海道難病連評議員会（札幌）

〃 13日（日）全道支部協議会 （〃）

8月4・5日（土・日）全道集会（札幌）

・患者・家族の交流会 → 日程・会場 未定

9月ころ JPC国会請願署名行動

12月 クリスマスパーティ

道東地区支部役員研修会（標茶）

懇談会及び相談会

会報 年5回発行

販売活動の取り組み・・・飾りの販売 他

相談活動・・・電話や訪問 等

※ 会員・家族に対して難病連活動の啓蒙・周知を計る

財団法人 北海道難病連

2001年度

支部会計予算書

自：2001年 4月 1日
至：2002年 3月 31日

支部名 音更支部

収入の部

科	目	2000年度決算	2001年度予算	備	考
支部	運営助成金	11,000.00	11,000.00	道難病連助成金	
市町村	補助金	3,000.00	3,000.00	音更用[より]	
その他の	助成金	1,000.00			
参加費	収入	4,270.00	3,000.00	7112228-51-1 交流会	
寄付金	収入	2,700.00			
協力会	還元金収入	2,122.50	1,500.00	道難病連協力会	
募金箱	還元金収入			道難病連募金箱	
署名募金	還元金収入			JPC国会請願署名募金	
販売事業	収入	7,448.00	1,000.00	人食作り	
その他の	事業収入	20,000.00			
受取利息	収入	122.00			
雑	収入	3,000.00	82.90		
業務連	参加助成金収入	4,032.00			
246-1の	家賃(送料)	1,077.80	4,000.00		
積立金	取崩収入		1,000.00		
前期	繰越金	5,314.40	13,917.10		
収入	合計	104,220.80	70,000.00		

支出の部

科	目	2000年度決算	2001年度予算	備	考
会議費					
支部	役員会	6,262.00	3,000.00		
本部	会議費	2,100.00	3,000.00		
その他の	会議費	2,032.20			
		1,130.00			

科	目	2000年度決算	2001年度予算	備	考
事業費					
地区	集会費	67,355.60	55,100.00		
全道	集会費	8,020.50	15,000.00	札幌1泊2日	
医療	講演会				
検診	相談会	11,029.86	1,000.00	福祉相談会	
機関	経・話費	2,722.80	5,000.00	年5回発行	
研	修	2,490.00	5,000.00	役員研修1泊2日標準	
レク	・交派会費	2,523.25	1,200.00	会費家族承継会・7112228-51-1	
地域	部会援助費				
相	談員補助				
活	動費	10,442.24	1,000.00	本5泊2日保険・交通費	
負	担金・分担金	1,100.00	1,100.00		
H S K	負担金	2,000.00	2,000.00		
246-1の	家賃	5,222.28	5,800.00	光熱費・修繕・日用品雑費	
維持	運営費				
事務	局費	6,786.10	8,500.00		
事務	消耗品費	2,467.50	3,000.00		
通	信費	5,615.00	1,000.00	札幌・文島	
交	通費	3,317.90	3,000.00	緊急電話・切手・A.D.等	
資	料費	4,392.20	5,000.00		
雑	費		1,000.00		
積立	金支出	10,000.00			
予	備費		3,400.00		
次	期繰越金	139,171.00			
支	出合計	104,220.80	70,000.00		

○ 2001年度役員

- ・支部長 大久保 龍雄 (バージャー病)
- ・副支部長 山田 秀則 (心友会)
- ・事務局長 穀内 さかえ (ベーチェット病)
- ・北海道難病連
評議員 穀内 律雄 (ベーチェット病 (家))
- ・会計 中村 泰是 (橋本病 (家))
- ・会計監査 山田 秀則 (心友会)
- ” 飛鷹 清広 (腎友会 (家))
- ・運営委員 宮内 浩子 (橋本病)
- ” 児玉 香枝子 (小鳩会 (家))
- ” 清水 優子 (リウマチ (家))
- ” 穀内 律雄 (ベーチェット病 (家))

※今年度の支部総会出席者は会員・役員合わせて9名でした

第22回全道支部協議会報告

支部長 大久保 龍雄

さわやかな季節となりましたが、お元気でお過ごしのことと思います。5月12日、13日の両日、札幌で開催されました支部協議会の概要をお知らせいたします。

○第28回難病患者・障害者と家族の全道集会（札幌大会）は、8月4日（土）5日（日）に開催されます。なお、第29回全道大会は釧路市に決定しました。

○道東地区支部研修会は、平成14年1月26日27日に標茶・弟子屈支部担当で開催されます。

○難病医療福祉相談会が根室市と釧路町で開催されます。1ブロック内で二か所の実施は初めてのことだそうです。

○北海道難病連加盟の疾病別部会は、1996年以來30部会となっていたが「未熟児網膜症から子供を守る会」「北海道側わん症児を守る会」の2部会が退会しました。従って現在は28部会13,600家族の加盟となっています。

○難病センターの増改築工事は、本年9月から始まり来年12月に完成の予定です。この間、会議、宿泊等の利用は一切できません。

○難病連の地域共同作業所の交流会を開催します。（期日未定）現在、札幌「アラジン」・旭川「かがやき工房」・釧路「さわやか釧路」・十勝「ふれあいデジタル工房」・函館「さぼっと」そして「どんぐりの家」の音更と現在六か所が開所しています。

以上で報告を終わりますが、この機会に『北海道難病連』の組織について少し述べてみたいとおもいます。

（財）北海道難病連は、全国筋無力症の会北海道支部などの呼びかけによって準備が進められ1973年2月に北海道難病団体連絡協議会として発足し、1982年12月に財団法人北海道難病連と組織変更をして現在に至っています。28の疾病別部会が加盟し、24の地域支部が各地で活動を展開しています。

なぜこの様なことを…と思われるかもしれませんが、ときどき会員の方から「部会には加入し、会費も納めているが、音更支部とはどんな関係あるのか理解できません」という声を聞くことがあるからです。

□音更 会 ……全道的に組織されている患者と家族の会で、同じ疾病の方々が会員になってい

ます。この患者と家族の会が、北海道難病連に加盟しています。ただし「あすなろ会」のみは個人参加難病患者の会なので同一疾病会員ではありません。

□地域支部……全道各地に北海道難病連の支部組織が24あります。(内一つは支部準備会)支部設置の目的は、北海道難病連の目的及び事業をそれぞれの地域において推進し北海道における医療と福祉の増進に寄与するところにあります。音更支部も24支部の一つですから北海道難病連の事業に参加し、支部独自の事業も実施しています。

部会(患者と家族の会)に加入すると、その部会の会員としていろいろな情報を得たり、行事等に参加することができますが、部会が北海道難病連に加盟すると同時にその部会の会員個人は地域支部の会員にもなります。

音更町在住の部会の会員の方に支部活動の案内を差し上げたり、広報などをお届けするのは以上のような組織になっているからです。なお、支部の活動はしめ飾りなどの販売事業の収入、還元金、助成金などをもとに行なっていますので会費の徴収はしていません。

支部の行事等の実施の折に若干の会費いただくこともありますが、多くのボランティアの皆さんのご支援をいただき楽しく活動をしていますのでお気軽に参加してみてください。

なお、組織上のことで疑問の点がありましたらどんなことでも結構ですから、支部事務局にお問合せください。

また、支部の運営委員として、事業の推進にご協力いただける方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

患者・家族の交流会のご案内

新緑の季節を迎え、患者・家族の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、今年度も下記の通り患者・家族の交流会を開催致します。

- ・ 日 時 2001年6月17日(日)
午前 11 時 ~ 午後 2 時 まで
- ・ 場 所 誠寿司 (音更町大通り10丁目)
電話 42-3597
- ・ 参加費 1,200円 小学生以上
(当日ご持参下さい)
- ・ 交流会 ゲーム・会食(会食をしながら親睦を深める)
の内容
- ・ 参加申し込みについて
6月13日(水)までに、同封のはがきか電話・FaXで
お申し込み下さい
難病連音更支部 (電話・FaX 31-8723)

報 告

「どんぐりの家 共同作業所」

「どんぐりの家」運営委員会

委員長 穀内さかえ

「どんぐりの家 共同作業所」がスタートしました。

住所・・・音更町東音更西2線25 南中土幌児童館

電話・FAX・・・0155-43-2511

宝来にある「どんぐりの家」からの引っ越しも、ほぼ終わりました。

玄関スロープ、手すり、洋式トイレに変更などの改修も行われ、現在、「福祉の店」の
開店準備等に大忙しです。

「どんぐりの家 共同作業所」は、難病患者や障害者が社会活動の一環として、作業や
交流をとおして仲間をつくり、生活の幅を広げていく場です。

一度、作業所へ見学に来てください。

作業内容～一般の方から寄付していただいたリサイクル品（衣類・食器・雑貨・本・小
型電化製品・おもちゃ・自転車・家具 等）の集荷、仕分け、点検、修理、販
売（バザーのときや「福祉の店」で）等です。

作業日～ 火・水・金・土・日

時 間～ 10:00～15:00

利用を

休所日～ 月・木・祝日

希望なされる方は作業所に

利用料～ 毎月 500 円

ご連絡ください、お待ち

工 賃～ 1日 500 円

しております。

（送迎についてはご相談ください）

職員

施設長（常勤）小川 友子

非常勤 西條 恵介 宮内 浩子



H S K ・ なんれん おとふけ

編集人 (財)北海道難病連 音更支部 穀内 さかえ
音更町

昭和48年1月13日第3種郵便物認可
2001年5月10日発行 通巻第350号
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川 久美子
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18